

平成 25 年度学校評価 学校関係者評価書

北海道雨竜高等養護学校

○学校関係者評価委員	4名（学校評議員、1名欠席）
○学校関係者評価委員会	2月27日（木）本校会議室
○配付資料	・自己評価書 ・教職員アンケート ・保護者アンケート ・生徒アンケート

評価委員より	学校における改善策等
○「健康・安全」について ・評価項目「給食」について、指導者による指導の差については是正していく必要がある。 ・家庭と学校・寄宿舎での生活は違うので、食事についても家庭と学校では違うということを、家庭に対して強く伝えてもよいのではないかな。 ・（食事について）施設等では職員が美味しくないと言うと利用者さんも同じように反応するので、調理員も頑張ろうとする。意識を盛り上げる必要がある。	・指導内容や観点について、ばらつきがあるとの評価だったので、食育の計画に基づいた指導を共通理解のもとに進める。 ・高等部段階では、時間内に食べるという目標もあるのでそのこととのすりあわせも必要である。 ・食事指導の考え方について、家庭に一層の理解・協力を求めている。
○「生活指導・生徒指導」について ・評価項目⑪（寄宿舎）について、職員の評価が低い結果が出ている。 ・もう少し自信を持ってやればよい。自虐的に過ぎる。	・寄宿舎職員の自己評価がおそらく低い。目標に対する達成度が低いと評価しているからだと考えられる。 ・（様々な課題や問題に対する）寄宿舎の主体的な対応を促したい。
○「教職員の研修」について ・評価項目⑳「研修」のポイントが低い。研修の状況は。	・現状として、職員のニーズに基づいて（自己研修）行っている。学校としては進路や施設研修などを積極的に行っている。また、外部講師を招いた研修も実施している。
○評価のありかたについて ・評価尺度A～Eについて、「E」（わからない）が多いのは、先生方がどうしてよいかわからないのではないかな。「E」の回答のさせ方を工夫した方がよい。	・すべての職種で回答しているので仕方ない部分はあるが、「E」の尺度についても検討の必要がある。
○総評 ・おしなべて、昨年より評価が上がっている。 ・今年度は十分な成果をあげていてすばらしい。今度は、農業科の花、栽培した野菜を利用した食育など、新しいプランで頑張ってもらいたい。 ・雨竜は（外部から）評価されていると思う。知連協でも悪いことは聞かない。力を蓄えてさらに頑張ってもらいたい。 ・現場実習先など、町内との連携も視野に入れて拡大を目指してもらいたい。 ・生徒アンケートで「学校、寄宿舎は楽しいですか」の回答を見ると、学校の生活が少しずつ窮屈になっているのではないかなと思う。 ・PTA が全員会うというのが入学式や卒業式しかない。保護者懇談会の時に学級懇談を設けるなど、そのような場を設けてほしい。PTA は卒業後の親同士のつながりのきっかけにもある。 ・PTA 活動のPR を学校からも積極的にやってほしい。	